

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1013
2024.2.25

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村

としお

久保

金子

としお

みき

あきよ

とば

めぐみ

たけこし

池田

めぐみ

市民の声を反映する市政への 2月議会 代表質問 転換求める



2月15日、松村としお市議が代表質問にたちました。

武蔵浦和義務教育学校建設やレジャープール廃止問題などで、市民の反対運動が広がっています。松村市議は、「市民の声を反映する市政」をめざす立場から質問しました。

松村 パブコメについて。「レジャープールあり方方針」のパブコメでは反対意見が多かったのだから方針を見直すのが当然ではないか。

副市長 反対意見の多くが、財政負担軽減や地域バランスといった課題に対するものではなく、要望等の意見だったため、見直さない。

松村 当事者の意見を聞くことについてうかがう。レジャープールの当事者は誰か。

副市長 子どもから高齢者まで幅広い年代の方が利用。当事者は「市民」。

松村 プールの利用者は子どもが多い。今からでも子どもの意見を聞くべきだ。

副市長 20～80代の市民対象のWEBアンケートをした。子育て世代の回答で子どもの立場も考慮した意見も反映されている。

松村 当事者は市民、子どもも利用者、と答弁したのだから子どもの意見を直接聞くべきだ。

副市長 今後、各施設の計画の検討にあたって

は子どもの意見も聴取して検討したい。

さらに、住民説明について質しました。松村市議は自治会関係者から「聞いていない」「存続を」という声が出ていることをあげ「地元住民の理解がないままレジャープールの方針決定がされた。本来なら決定前に意見を聞く場を設けるべきだ」と求めました。市は「原山市民プールの存続や廃止の方向性は決まっていないから説明をおこなう段階ではない」としつつ「今後、沼影市民プールの代替施設の検討段階から説明会を開催し、原山地域も含め地元意見をていねいにうかがいながら進める」と答弁しました。

一連の質問で子どもの意見や説明会で一定の対応をする答弁が示されましたが、パブコメも受けとめず、当事者の子どもの意見も聞かず、地元にも説明しないで大幅削減を決定したのは

公共施設 支出超過の例

令和4年度決算資料およびレジャープール在り方方針より（数字は3年度）

岩槻人形博物館	2.52億円
うらわ美術館	1.88億円
プラザイースト	3.8億円
プラザノース	7.12億円
大和田公園プール	0.71億円
原山市民プール	0.25億円
三橋プール	0.17億円
沼影市民プール	1.98億円
下落合プール	0.78億円

3.89億円

問題です。松村市議は「レジャープールのあり方方針の撤回を求める」と強く迫りましたが、市は「撤回は考えない」と強弁しました。

また沼影市民プールについて、ロッテ2軍施設跡地の購入を求めましたが「工場立地法の制限があるので困難」と答弁し、まともに検討しない態度でした。

住民サービス削減やめよ

レジャープール削減の根拠のひとつとして、市は「支出超過」をあげています。松村市議は市内公共施設の収支を調査。収入超過の施設は一つもなく、すべて支出超過でした。質問でレジャープールより支出超過している施設の例をあげ（資料）、問題になる事業とならない事業の違いを聞くと「収支バランスのみで判断せず公共性の高さなど施設特性などを総合的に勘案し…」と答弁。松村市議は「根拠があいまいで負担増や市民サービス削減をもっともらしく説明するために恣意的に使っている」と批判し「支出超過を事業継続の指標にするのはやめるべき」と主張しました。

ジェンダー平等へ 女性職員の力を集めよ

さいたま市のジェンダー平等の「司令塔」は「男女共同参画推進本部」（本部長は市長）ですが、

男性が97.4%を占めています。また、市の非正規雇用である会計年度任用職員の8割が女性であり、処遇改善は喫緊の課題です。

松村 市は「政策及び方針決定過程の女性の参画拡大」をにかけているが、推進本部はほぼ男性。政策及び方針立案する女性職員中心の組織立ち上げを提案する。

副市長 提案については男女共同参画推進本部のより効果的なあり方を検討するなかで研究したい。

松村 市は「女性の経済自立に向けた取り組みの推進」を掲げ、「給与等の処遇面の格差が貧困の一因」「経済的な自立は女性の自己決定という観点から非常に重要」と言っている。であるならば、会計年度任用職員の大幅な賃上げと期末手当引き上げの遡及支給をすべき。

副市長 所管課からの給与等の増額要望は協議をおこない、賃金は適正な水準確保に努めている。雇用の安定確保の観点から4月1日から給与改定し、今後は遡及改定の可否も含め検討したい。

市は掲げた方針を脇に置いてジェンダー不平等是正に積極的に動く姿勢を見せませんでした。

地下鉄7号線延伸は断念を

市は1月に地下鉄7号線（埼玉高速鉄道）の浦和美園駅から岩槻駅まで約7kmの延伸建設費用が860億円から1300億円に増え、工事期間も7年から18年に伸びたことを発表。松村市議は「費用面はもちろん時機も失した。延伸を断念すべき」と主張。市は「事業化に向けて決して断念することなく、これまで以上に県や鉄道事業者と連携しとりくんでいく」として、際限なく税投入をする姿勢を示しました。松村市議は「コミュニティバスや乗り合いタクシー、デマンド交通など市民に身近な公共交通網の充実や利便性向上を優先すべき」と求めました。

市庁舎移転総事業費が約400億円へ 事業費削減の工夫を

2月議会 代表質問



2月15日、たけこし連市議が代表質問にたちました。

たけこし はじめに市庁舎移転に費用について、移転の総事業費は当初 238 億円だったが、今年の 12 月議会で示された総事業費は約 400 億円で、1 年あまりで総事業費が大幅に膨張した。事業費の引き上げの理由はないか。当初の予算は過小だったのではないか。

市 基本構想時からの事業費のおもな増加要因は物価および資材の高騰によるものが約 6 割、面積増によるものが約 2 割、市民広場整備費などの基本構想時に未確定であったものの追加分が約 2 割となっている。なお、基本構想時の事業費は他市の新庁舎の建設費なども参考に試算したもので、過少に見積もっているわけではない。

たけこし 市民からすれば、例えば 2300 万円の予算で家を建てようとして、見積もりが 4000 万円になった場合は、設計を見直し、当初の予算に近づけようとする。市庁舎建設にもその視点が必要。市庁舎の地下駐車場は地上部の工費と比較し、30%増の予算が必要とのこと。ならば民間施設ではなく、駐車場等の市庁舎機能をもたせ、工費を削減する、あるいは駐車場を確保した上で民間施設と複合化するなど、さまざま工夫できる。完全に民間貸与と決め打つのではなく、この土地を事業費削減のために利活用すべきで

2024年度予算組み替え要求	
歳入	(単位 円)
1. 財政調整基金	69.7億円
2. 減債基金	59億円
3. 合併振興基金	30億円
4. 公共施設マネジメント基金	20億円
5. 介護保険給付費準備基金	25億円
6. 水道会計利益剰余金及び累積資金剰余金	31億円
7. 繰越金	15億円
8. 歳出カット(海外視察経費・国際芸術祭見直しなど)	6億8424万円
歳入合計	256億5424万円
歳出	(単位 円)
1. 市民負担の軽減	
(1) 消費税の負担をなくす(水道・下水道料金を除く)	4億1000万円
(2) 水道料金(6ヶ月間の基本料金免除)	52億円
(3) 下水道料金の引き下げ(10%)	16億8000万円
2. 福祉・医療の充実	
(1) 国民健康保険税の負担軽減	27億円
(2) 介護保険料の引き下げ	25億円
(3) 保育料の負担軽減	12億円
(4) 認可保育所の建設費補助	12億円
(5) 学童保育運営費補助の増額	2億円
(6) 敬老祝い金	3億5000万円
(7) 心身障害者医療費支給制度の年齢制限撤廃	2億2060万円
3. 教育環境の整備	45億7970万円
(1) ロッテ土地取得調査費	
(2) 市立高校無償化	
(3) 教育振興基金への繰り入れ(夢支援に使う) 他	
4. 防災のまちづくり	19億2000万円
(1) トイレトレーラー購入費	
(2) AED屋外設置 他	
5. 産業・商店街振興、不況対策	34億9394万円
歳出合計	256億5424万円

はないか。

市 公用車等の駐車場を民間機能と共有することは、民間誘致の今後の制約とも成り得ることもあり、現在のところは想定していない。いずれにしても、発注方式の工夫や国庫補助の活用、民間機能による収入確保など、財政負担の軽減に努めていく。

たけこし 党市議団として、新年度予算 1 兆 1816 億円のうち約 2.17%にあたる 256 億 5423 万円の予算を組み替える提案する。大

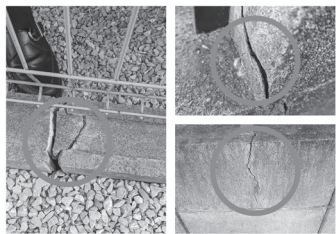
型開発やイベントの取りやめで予算を確保し、市民負担の軽減や福祉の充実にあてる。今回は、さいたま市立高校の無償化や本市の給付制奨学金の繰入れ、トイレトレーラーの購入、ロッテの土地取得調査費などをあらたにくわえた。市の見解をうかがう。

市長 予算の組替え提案は、健全な財政運営の観点、適正な受益者負担の観点等から、長期的なものを含め多くの課題を抱えている。

与野中央公園周辺の工事で 住宅に大きな被害が

たけこし 現在、与野中央公園の周辺整備として、付け替え道路の工事が進められているが、周辺境界ブロックが割れている。住宅では境界ブロックの割れや雨水管の破損、室外機の傾きなどの影響が出ている。私はこれらの被害は地盤沈下が原因ではないかと考えている。これらの住宅への対応を含め、現況調査の実施と今後の対応は。

市 現地を調査したところ、ブロック塀の一部に亀裂があることを確認した。今後は、その亀裂が工事に起因するのかを判断するため、専門業者による調査をおこなう予定。工事による影響が判明した場合には、適切に補償し



ていく。今後は事業者に対し、事前および事後の近隣家屋調査を求める予定。なお、工事前後の記録の比較等により、万が一、工事に起因する破損等が認められた場合は、事業者にはすみやかに市に報告のうえ、現況復旧に努める等、適切な対応を求める。

たけこし さまざまな懸念や不安があるにもかかわらず、トップダウン的に決められたアリーナ計画に多くの市民が反発している。これまで市は説明会を複数回開催したが、担当職員が来て方針を話すのみで、市民に説明したというアリバイづくり的な議論が続いている。市民は市長との対話を望んでいる。直に市民から意見を聞いて、市長がきちんと答え、合意形成をしていく必要がある。市民の会はすでに市長面談を 4 回要請しているが、実現をしていない。会との面談が困難であるならば、きちんと平場で市長が説明会をおこなって、直接意見を聞くべきでは。市長が直接市民に説明をする機会を持つことについての考えは。

市 自治会の会合等において市長自らが、(仮称)次世代型スポーツ施設の意義や検討状況などについて、ていねいに説明し、率直な意見の交換をおこなってきたものと認識している。今後も引き続き、市長を先頭に、関係部局が連携し事業を進めることとあわせて、事業の進捗等に応じ、市民のみなさまに対し、ていねいに説明していく。

あなたの身近な市議会議員です



緑 区
松村としお



桜 区
久保 みき



南 区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ